

【146】

◇ ……、…が課題

1人目→ ……が交渉…相手にされない

2人目→ ……(外務卿)

- ・ まずは税権の回復をねらう
- ・ アメリカは合意したが、イギリス・ドイツは応じない→失敗

3人目→ ……(外務卿)

- ・ 法権の回復が目標
- ・ 東京に各国の代表を集め、…で接待
- ・ 極端な欧化政策「…」
- ・ 封建回復の条件…外国人の内地雑居、

※ここで

イギリスの船が難破、イギリス人船長がイギリス人のみ助け、
日本人は全員死亡…イギリス人を日本人が裁けず、船長は無罪
←日本人の反感…治外法権解消の世論高まる

4人目→ ……(外務大臣)

- ・ 法権回復が目標
- ・ 封建回復の条件…外国人裁判官を…に限定して任用
- ・ 交渉内容がイギリスの新聞でバレル…大隈重信が襲撃され辞任

5人目→ ……(外務大臣)

- ・ 税権・法権の一部回復…イギリスとの交渉で
(ロシアの拡大への警戒…イギリスが日本に接近してロシアの南下を
おさえようとする)
- ・ ……発生、青木周蔵辞任
津田三蔵がロシアの皇太子を襲い、重傷を負わせる
(世論・ロシアは津田の死刑を望むが、
大審院長…は無期懲役とする)

6人目→ ……(外務大臣)

- ・ 日清戦争前に交渉が成功
- ・ ……法権の回復、相互の最恵国待遇

7人目→ ……(外務大臣)

・